

日 時：平成 27 年 6 月 16 日（火）18 時 30 分 ～20 時 20 分

場 所：東公民館

対象地区：南田中・李平

参加人数： 22 名

■意見交換（まち・ひと・しごと創生への取り組みについて）

内 容
<p>○全体について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>事業費の 237,736,000 円は、国の補助金なのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域消費喚起・生活支援型交付金が 8,900 万円くらい国から来ており、それに市の予算も入れて 1 億 3,100 万円となっている。地方創生先行型交付金は 5,800 万円くらいが国から来ている。それに市の予算を 4～5,000 万円上乗せする形となっている。</li><li>・これは本来、平成 26 年度の国の補正予算で組まれたものだが、繰越で平成 27 年度に行うようにしている。</li></ul>

■要望、質疑応答

内 容
<p>○東公民館について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>東公民館の耐震改修の今後の予定、工事内容について教えてほしい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予定としてはまず設計を行う。設計費用は 9 月補正に 300 万円計上する。設計を行うことにより改修費用が分かるが、管理費含め 600 万円を少し超える程度とみており、その費用は平成 28 年度に計上するかと思う。</li><li>・耐震のみ行うため、建物の外壁はそのまま、床から天井までの内側の壁を壊して耐震補強用の合板を張ることになる。建物の内壁は両面から合板で挟むようにして加工し、今と同じような壁の色にするためにクロスを張ることになる。窓の下は耐震に影響しないため行わない。また、玄関のタイルも取ってしまい、両面から耐震補強を行い、クロスにする予定である。屋根についてはリフォームになるので、行わないという流れになる。</li><li>・耐震診断を行っていない公民館は 15 カ所あり、3 年かけて耐震診断を行うが、新築したい町会では耐震診断を行わない。</li><li>・耐震改修であれば全て市で持つ。新築したい場合はこれまで町会によって負担の額が異なっていたが、一世帯当たり 15,000 円持ってもらい、残りは市で持つ。古い順で行け</li></ul>

ば、猿賀に次いで2番目となるので、早目にやることになると思う。

(市民からの要望・質問)

説明不足であったため、総会で耐震にするか新築にするかとなり、結局耐震に決まった。耐震を行った場合、その後新築したくなった時に順番が最後に回されてしまうのではないか。

(市の回答)

- ・耐震補強をやっしまえば、最後になってしまうと思う。
- ・15,000円は300平米までで、それ以上大きなものを建てるのであれば町会の負担となる。

(市民からの要望・質問)

一旦耐震改修を行い、その後新築する場合は公的な補助を受けることができるのか。

(市の回答)

- ・建物を新築したものは10年、改修したものは5年経過すれば協議の必要はあるが、耐震改修を行ったからといって補助を受けることができないということではない。
- ・予算に限りがあるので、優先順位を付けていかなければいけない。年間1億円の予算で年間2つつづつ順番に行っていくので、一旦耐震改修を行うと、5年経ったとしても行うことができない可能性がある。

○尾上野球場の照明について

(市民からの要望・質問)

以前、尾上野球場前を通りかかったときに、野球をしていないように見えたのだが、電気が点いていた。普段も電気を点けているのか。

(市の回答)

- ・申し込みがあったため電気を点けていた。希望があれば、お金をもらって野球場の貸し出しを行っている。
- ・尾上野球場では中に人がいても外からは見えないだろう。

○陸上競技場完成時について

(市民からの要望・質問)

陸上競技場が完成した際に、市として何かイベントを行うのか。

(市の回答)

- ・陸上競技場が完成したら、市民運動会を復活させたいと考えている。
- ・以前は、町会で選手を集めるのが大変とのことでやめたが、市民の一体感を高めるためのレクリエーションのようなものを行った方が良いのではないかとということで、一番に行いたいと思っていた。

○金田小学校の野球場のネットについて

(市民からの要望・質問)

金田小学校の野球場のネットが中途半端で、ボールが飛んでいってしまい、それが車に当たったということで苦情があったと聞く。ネットを横に広げるなどしてなんとかならないか。

(市の回答)

- ・ネットは校長の意見を聞いてその大きさにした。
- ・フェンスについては、金田以外の小学校でも少しずつやっているが、現場を確認する。

○道路について

(市民からの要望・質問)

東公民館前の道路の拡幅によって車の往来が早くなった。前は40キロ制限の標識があったがなくなってしまい、横断などが大変になった。標識や信号を設置してほしい。

(市の回答)

- ・道路が県道であるので、黒石警察署と話してその結果を町会長にお知らせする。
- ・信号についてはあちこちで要望があるが、県警としても予算が不足しており、交通量や他の信号からの距離の兼ね合いもある。なかなか難しい。

(市民からの要望・質問)

ライスセンターの農道からの通り道にもなっており、交通量が多い。その辺も加味して考えてほしい。

○側溝について

(市民からの要望・質問)

東公民館から100mほど離れた所に、李平から庚申塚に流れる側溝があるが、側溝の真ん中あたりが高いため、その地点から2方向に流れている。そのうち一方の底が深くなってしまい、泥上げの際に苦勞している。うまく流れず悪臭の元にもなっているので、どちらか一方に流れるようにしてほしい。また、蓋がかかっている所に自転車が落ちることもあるので、蓋をつけてほしい。

(市の回答)

- ・昨年も要望があり、村中線の勾配の修正については、昨年6月18日に町会長と現場確認を行っており、モルタル施工により調整することになったと思う。水路の泥上げに関しては、町会にお願いしている。
- ・現段階では新しく側溝を入れるという形にはならないであろう。

○ごみ集積所の看板について

(市民からの要望・質問)

ごみの集積所の看板が真っ白になっており、表示が分からない。尾上地域はほとんどが

そのような状態になっているので、はっきり表示できるように何とかしてほしい。

(市の回答)

- ・看板やボックスに関して要望は受けている。平成 27 年度予算にはならなかったが、平成 28 年度予算で何とかする予定で、今は各地区の集積所の実態を確認している所である。調査を行い、来年度で集積所に関して基本方針を示して予算化したいと考えているので、その中で皆さんにお願いすることがあるかもしれない。
- ・場所によって集積方法など違うようなので、調査をしている所である。
- ・今年はコミュニティのお金をいくらか増やしたので、自分たちでできることはやってほしい。

○短命県返上について

(市民からの要望・質問)

県では短命県返上のために施策を行っているが、平川市においても外で高齢者も子どもも体を動かすような施策を考えてほしい。また、お年寄りがひらかドームまで行かなくても済むような、その地域で済むようなものが欲しい。

(市の回答)

- ・市としてもいろいろ施策を行ってきた。3月の議会でも話したが、健康推進の基本条例をつくり、10月25日に健康都市宣言をする予定である。
- ・健康づくりのためには、運動・食べ物・健診の3本柱でやっていかなければならないので、それを進めていき、元気な市を作りたいと考えている。

○高齢者の見守りについて

(市民からの要望・質問)

一人暮らしの高齢者が増えてきているので、高齢者を団体で見守りできる場が欲しい。

(市の回答)

- ・高齢者が集まることができる場を作るということは、高齢介護課で現在検討している最中である。高齢者が外に出るようにすることは大事であるので、ご協力をお願いすることがあるかもしれない。

(市民からの要望・質問)

他の市では学校の空き教室を高齢者が利用しているとも聞く。南田中は金田小学校も近いので、小学校の教室を利用できないか。

(市の回答)

- ・学校開放と学校管理と子どもの安全と校長先生の考え方などクリアしなければならない問題はたくさんある。
- ・世代間交流をして地域の学校とすることは大事なことであるが、学校としては、学校開

放などこれまでと違うことをしようとすると、様々考えなければならない所がある。これから考えていく必要がある。

- ・他県では、学校の空き教室で世代間交流を行っているということを聞いている。
- ・金田小学校に空き教室があるかどうかは分からないが、廃校を活用するということは、市として考えていかなければならないと考えている。しかし、街中でない所で子どもがいなくなるにより廃校になった場合だと、活用が難しいということもある。
- ・これからは、子どもと高齢者の相乗効果で元気になっていくように教育委員会と連携しながら取り組んでいきたいと思っている。

○子どもの食育について

(市民からの要望・質問)

学校給食で地産地消が盛んに言われているが、比率はどれくらいか。また、できるだけ地元のものを使って、本当においしいものをもっと食べさせてほしい。

(市の回答)

- ・実績で 15%である。
- ・地産地消を進めたいが、食材の流通の問題で大変である。
- ・給食センターでは短時間で準備しなければならない。食材の規格を揃えたり、一定量を決められた時間に持ってくるシステムは、経済部が農協や生産者と調整を行っていくことになっている。
- ・第2次食育推進計画を今年3月に策定した。また、平成31年度までの努力目標も策定しており、学校給食センターでは割合を 15.9%から 20%に上げることにしている。また、食育計画そのものについては地産地消促進計画も策定しているため、2枚看板で地産地消を推進していく。他の市町村では給食センターに供給する提携農家を使っていると聞いている。
- ・地産地消は進めたいものの一つである。早く準備できる材料でなければならないという問題もあるが、15%からもっと比率を上げたいと思う。

○旧葛川小中学校学区の児童生徒について

(市民からの要望・質問)

葛川小中学校が廃校になり、金田小学校や尾上中学校に旧葛川小中学校学区の児童生徒が通学している。その子達の負担をどのように考えているのか。

(市の回答)

- ・慣れ親しんだ自分たちの学校に行けず、部活動もできないので、保護者の方は不安に思っているのではないかと思う。学校の先生も気にしているが、子ども達は元気よく生活している。
- ・7月くらいに学校の先生が葛川地区に行き、話を聞くことで子どもたちの住んでいる地域への理解を深めるようにする予定である。

(市民からの要望・質問)

子どもたちの父兄と懇談したりする機会を設けるのか。

(市の回答)

- ・まずは学校の先生に葛川地区を知ってもらうことを優先させたいと考えている。
- ・葛川小中学校が閉校になる2年前から、校長が交流を行っており、自然に溶け込める環境を作ってきた。
- ・地域に学校があった方が良いが、子どもが少なくなると廃校になってしまうことがある。市としては、子どもを増やすためにまずカップルを増やすなどの地域づくりをしていく必要がある。

○平川ねぶたまつり冬の陣について

(市民からの要望・質問)

昨年開催された平川ねぶたまつり冬の陣は2日間の予定が中止となったが、冬に行うというのは天候を考えるとどうかと思う。天候によって無理なこともあるので、もっと計画的に予算を使うことができないか。

(市の回答)

- ・冬のねぶたは東北新幹線開業から5年間行う予定であるが、冬に行うのはどうかという声もある。
- ・旧平賀町では大晦日にねぶたを行った。今回は市制10周年を記念して行う予定だが、悪天候による中止の場合も考えて、12月から健康センターの駐車場に展示する予定で、囃子などを行う予定である。
- ・昨年中止になったのは各町会から引いてくるときに無理だったため、今回の冬のねぶたをどうするかは協議していく。

(市民からの要望・質問)

冬のねぶたは観光面でどれくらいの経済効果があったのか。

(市の回答)

- ・手元に資料が無いためお答えできないが、県の試算を出すシステムはあるので、推計を出すことは可能である。
- ・昨年の冬のねぶたでは、アップルランドに宿泊していた人が来ていたようである。